

中学校における水泳授業のあり方について

昨今、全国の公立中学校において水泳の実技授業(以下、「水泳授業」とする)を廃止する動きがあります。その背景として、老朽化した学校プールの維持管理費の増大、天候等の影響による計画的な授業実施の困難性と安全確保の必要性等の課題が指摘されています。江南市は、これらの課題に対し、児童生徒の水泳授業の機会を確保するため、民間事業者の屋内プールの活用に取り組んでいます。この先の活用枠拡大は困難な状況となっています。

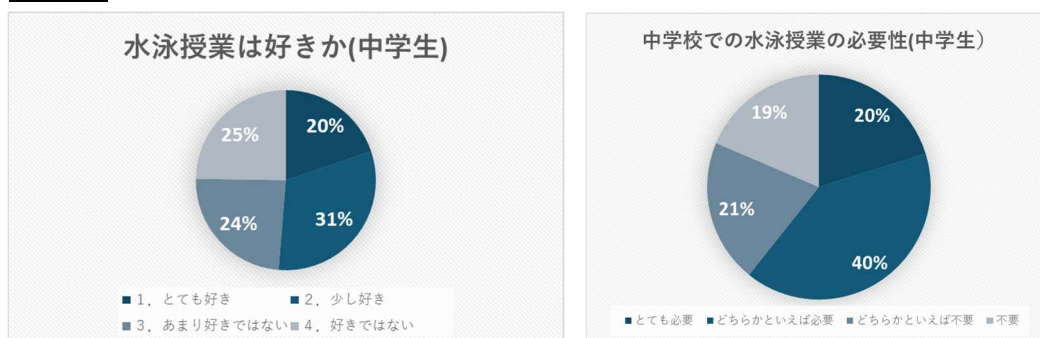
令和8年5月に実施しました、小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒と、その保護者の皆様を対象としたアンケート結果＜概要＞については、以下のとおりです。

小学生

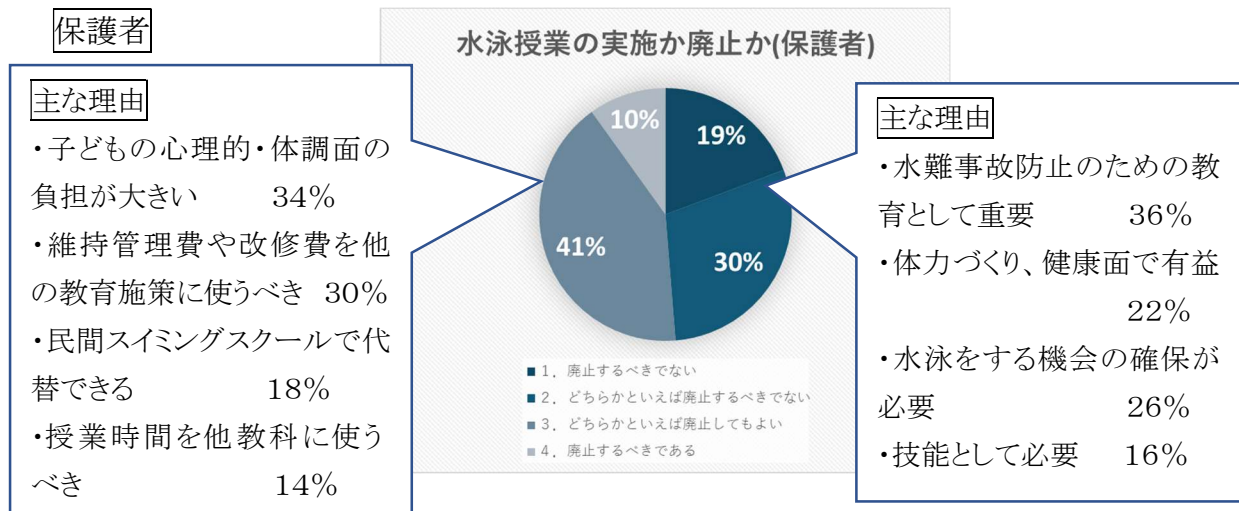


- ・「あまり好きではない」「好きではない」理由は、多い順に「泳ぐことが苦手」、「水着になりたくない」、「暑い・寒いのがつらい」となっています。
- ・中学校での水泳授業について、「さまざまな泳法で泳ぎたい」、「もっと泳げるように頑張りたい」、「プールや更衣室をきれいにしてほしい」等の意見があります。

中学生



- ・「あまり好きではない」「好きではない」理由は、多い順に「泳ぐことが苦手」、「水着になりたくない」、「暑い・寒いのがつらい」となっています。
- ・中学校での水泳授業について、「着衣泳や水難事故防止を学ぶことが大切」「泳力に応じた授業や男女別の授業をしてほしい」等の意見があります。



・「現在の授業回数では泳力習得は難しい」、「コロナ禍で水泳授業がなかった世代なので、ぜひ水泳授業を望みたい」、「プール維持費をスイミングスクールに通う補助に回してはどうか」、「利用可能なプールを複数校で利用したり、プール授業の期間を延ばしたりして、今できる対策を検討してほしい」などの意見があります。

このアンケート結果を受け、市内小中学校長に令和9年度から順次水泳授業を廃止する方針案を提示し、ご意見をいただきました。その結果「令和9年度からの廃止では、児童生徒・保護者への丁寧な説明・周知が困難ではないか」などの意見がありました。ついては、江南市教育委員会としては、水泳授業を廃止する場合の代替案などについて、より慎重に策定することとし、令和10年度から水泳授業を順次廃止することを視野に入れ、以下のとおり多角的に検討してまいります。

- プールの稼働・維持管理状況を把握し、中学校プールを順次廃止する時期を慎重に検証します。スクール水着やラッシュガード等、水泳授業の準備品購入に配慮し、保護者の皆様へは十分に周知していく必要があると考えています。
- 水泳授業を廃止した場合、中学校4校の大規模改造工事のコスト削減額は1億4500万円と試算しています。また、年間維持費(水道料、薬剤、保守委託、水質検査料、修繕費等)は、800万円の削減となります。
- 児童生徒、そして保護者の皆様の水泳授業への期待感と必要性に応じていくために、水泳授業を廃止する学校に通う生徒を対象とした、水泳指導を含む泳ぐ機会の確保を民間事業者の屋内プールを活用して、夏季休業期間中に複数回実施する方法を検討します。
- 「ほとんど泳げない」児童生徒が約3割います。教師の実技指導力の向上のため、民間事業者による実技指導講習会の実施を検討します。
- 各学校から着衣泳講習の講師派遣事業に積極的に申し込むように働きかけていきます。

8尾教第886号

令和8年6月17日

各市町教育委員会教育長 殿

愛知県教育委員会尾張教育事務所長

愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に係る意向確認について
(依頼)

このことについて、令和8年6月15日付8教義第369号で、愛知県教育委員会事務局長から別添のとおり依頼がありました。

つきましては、貴教育委員会にて周知いただくとともに、教科用図書採択地区の適正規模化に係る意向について、下記により提出してください。

記

1 提出物

別紙「教科用図書採択地区の適正規模化に係る意向確認調査票」

2 提出期限

令和8年8月7日(金)

3 提出方法

尾張教育事務所担当へ、電子メールにて送付してください。

担 当	指導第一課指導第一グループ(中島・丹兼伊藤) 指導第二課指導第二グループ(愛 日:谷口・越野)
電 話	052-961-1884(中島・丹兼) 052-961-1903(愛 日)
ファックス	052-953-1539
電子メール	owari-kyoiku@pref.aichi.lg.jp